

NO!リニア

No. 136

2022年5月1日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス



リニア建設工事の遅れは、本当に静岡県が原因か？ 実は各地で工事が遅れている！①

会社は、リニア建設工事について「静岡県が大井川の水問題や自然環境保全を理由に工事認可をしないから、2027年開業は難しい」と、建設計画の遅れがさぞかし静岡県に責任があるかのように主張しています。また、多くのマスコミ等も同様の論調で報道しています。果たして本当に、工事の遅れは静岡県の責任なのでしょうか？
現地取材したジャーナリストによると、以下の調査結果が出ています。

神奈川県相模原市（主なもの）

◆相模原市の用地取得 2年の遅れ

相模川以東の地権者への用地取得事務は2015年～2020年までがJR東海から相模原市に委託した契約期間だったが、今年3月31日までの再契約となった。

◆リニア車両基地 4年以上の遅れ

地権者測量は未了。埋蔵文化財保護法に基づく調査計画書の未提出等。

◆神奈川県駅 6年の遅れ

非開削工区は未契約。仮に今すぐ着工しても竣工は2031年、それから「電気調整試験」と「試運転」に2年かかった場合6年の遅れ。

長野県（主なもの）

◆豊丘村坂島工区 3年半以上の遅れ

本線の用地取得が完了していない。トンネル採掘の遅れ。

◆大鹿村陰山非常口工区 3年9ヶ月以上の遅れ

◆伊那山地トンネル 2年半以上の遅れ

◆青木川非常口工区 2年半以上の遅れ

◆南木曾町広瀬非常口工区 仮残土置き場未確定で掘削すらできず